



萱瀬中だより

校訓：自主 創造 健康

大村市立萱瀬中学校

令和7年7月18日発行

文責：校長 西野 理英

暑い暑い44日間の夏休みが始まります！



いよいよ明日から生徒たちが待ちに待った44日間の夏休みが始まります。今までより少し長く感じるのは、今年度から2学期始業式が9月1日になったからです。何だか得した気分・・・しかし、長いようで短いのが夏休みです。あれもしよう！これもしよう！とスタートしたものの、なかなか思いどおりにいかず、後半になって慌てる・・・ということも予想されます。それぞれ計画的に、規則正しい生活を送ること、正しい判断力をもち、自分の命を守り、安全な夏休みを過ごしてください。保護者の皆様、ご家庭でもご指導よろしくお願いします。また、夏休み期間中、各学年、保護者の皆様と面談を実施させていただきます。お忙しい中ですが、子どもたちの成長につながるような有意義なお話ができればと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

「NTO大作戦」って？・・・おかげできれいになりました！

初めて聞いたとき、何のことだかわかりませんでした。聞いてみると、「夏休み前縦割り班大掃除」のことでした。目的は、普段あまり掃除ができなかった場所の大掃除をすみずみまで行うことと、もう一つ、遠足レクや田植えなどで身に付けた縦割り班の団結力で、班長を中心に計画立てて掃除を行うことです。先輩も後輩も力を合わせて取り組む、萱瀬中ならではの光景でした。



←ガスコンロの汁受け皿を磨いています。
地ネ館も整理整頓→



7月26日(土)から長崎県中学校総合体育大会が開催されます。

萱瀬中学校から6名が出場します。皆さん応援よろしくお願いします。頑張れ！！

★7月26日(土)相撲競技★

場所：長田いこいの広場相撲場

団体戦 2年 高田 壮祐さん

2年 吉田 博人さん

1年 田崎 裕翔さん



★7月27日(日)陸上競技★

場所：トランス・コスモススタジアム長崎

2年男子1500メートル 富田 大心さん

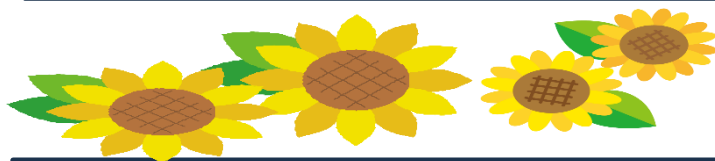
★7月28日(月)バドミントン競技★

場所：佐世保市立体育文化館

女子シングルス 3年 田下 琴乃さん

女子シングルス 3年 米田 柚稀さん

第75回 “社会を明るくする運動” 中学・高校生(大村・東彼地区) 弁論大会
3年生 田下 寛大さん出場 優秀賞を受賞しました。ご一読ください。
(なお、弁士紹介は、3年 ギャラガー 隆一郎さんが務めてくれました。)



「感謝で世界を広げる」

大村市立萱瀬中学校 3年 田下 寛大

私は「ありがとう」「助かります」などの言われた相手が嬉しくなる感謝の言葉が大好きです。だから私は、人に助けてもらったときに感謝の言葉を述べることをいつも忘れないようにしています。しかし、以前はただ言えればいいと思っていましたが、ある出来事をきっかけに私の「感謝」に対する思いは大きく動かされました。

それは、陸上部に入部し、中学1年生のときの初めての大きな大会のことでした。あいにく天候に恵まれず、激しい雨が降っていました。私は長距離選手だったので1500mを走り、激しい雨の中でしたが、いいタイムでゴールすることができました。走り終わったあと、荷物を整理し、トラックを出ました。「疲れた」「早く戻りたい」としか考えていませんでした。仲間の競技もすべて終了し、コーチと担当の先生のところに集合しました。

そのとき、先生が次のように話されました。「今回の大会は、こんな難しい天気の中でも多くの人が携わっています。この人たちがいるからこそ自分たちが走れているのだということを忘れず、感謝の気持ちをもってください。」

ハッとしました。激しい雨に降られながらも走りぬき、良い記録を残せたのは、自分が頑張ったからだと思っていました。もちろんそれは間違いではありません。しかし、雨の中でも大会を開催・運営してくれた人たちがいなければ、そもそも走ることはできませんでした。

「今回自分がいいタイムを出せたのはこの人たちのおかげなのか。次からは必ず感謝の気持ちを伝えられるよう頑張ってみよう。」と気付かされました。

この経験を基に、今では、ゴールした時、近くにいるスタッフの方に「ありがとうございます。助かりました。」と必ず伝えるようにしています。日頃の練習でも、タイムを測ってくれた人にお礼の言葉をいつも忘れず言うようになりました。自分が頑張れるのは、支えてくれる人たちのおかげなのということに気づき、感謝することが、私を大きく成長させてくれました。

また、アメリカの有名な企業「Apple」の設立者、スティーブ・ジョブズの発言の中に、こんな言葉があります。「感謝の心が人を磨く。」この言葉は、ジョブズが人生の中で成功するには、家族、または同僚などの人間関係の中で感謝の気持ちをもつことが重要で、「人を育てる」、「人を磨く」のように自分をさらに成長させるという意味が込められています。

人は、誰かに心から感謝したとき、相手に何かを返したい、自分も誰かを支え、助けられる人間になりたいと考えるのではないのでしょうか。そう強く願い、行動することが、人を成長させるのだと思います。

しかし、もし感謝の言葉を発したにも関わらず、無視されたときはどうなるでしょうか。無視され、いやな気持ちになることもあるでしょう。たとえそんなことがあったとしても、感謝し続けるべきだと私は思います。相手の反応がどうであっても、感謝する気持ちは変わらないからです。また、言葉を重ねるうちに、相手の心も徐々に打ち解けていくと思います。

感謝は他にはないすごい力があります。しかしそれとは逆に、「バカ」「阿呆」など相手を陥れる暴言にも、違う意味で大きな力があります。

このような暴言などのマイナスになる言葉を発するより、「ありがとう」「助かります」などの人にとってプラスになる言葉を発する方が自分と相手、両方の人間性を高め、そしてより感謝の世界を広げることができると思います。私も周りの人に支えられていることを忘れず、今よりたくさん感謝の言葉を伝えていきたいと思います。